

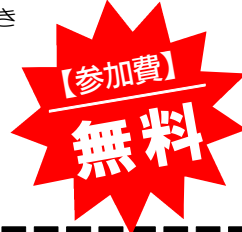
三河本苑 2023

少年冬季学級 ご案内

内容：クリスマスも近い為、親子で出来る「クリスマスリース作り」や「凧揚げ作り」を親子で協力して楽しんで頂きます。夏季学級で行なった、ぼたえもん童話や日本伝統を取り入れたこともやっています。昼食は、クリスマスチキンを作ったりして楽しんで頂きたいと思います。



【日時】 12月10日(日)
AM 9時30分受付AM10時～PM3時 くらいまで
【場所】 大本三河本苑



三河本苑だより

12月号

2023・11 No.499

(発行者) 大本三河本苑

〒443-0031

蒲郡市竹島町28-5

TEL 0533-69-7518

FAX 0533-69-1455

「10月秋季大祭 本苑長あいさつ」より

本苑長 加藤三樹

本年度の三河本苑「5つの重点活動」の最近のトピックス3つを紹介します。

まず1つ目は、重点活動「エスペラントによる献詠歌作り」についてです。9月17日、亀岡にてEPA創立100周年記念「大本エスペラント歌祭」が開催され、この三河本苑でもライブ配信を同時中継して見ていただきました。本苑からは20名もの方の献詠歌が、エスペラントで奉納されました。

当日、「エスペラント献詠歌集」が発行されましたが、自分の歌がどのようなエスペラントになったかご覧になりましたでしょうか。ありがたいことに本苑には、萩原将矢エスペラントスペシャリストがいます。個別レクチャーをお願いします。個別レクチャーをお願いして見てください。エスペラントに親しむ絶好のチャンスです。

次は2つ目のトピックスで、重点活動「青年部員参加の

【聖師様の愛善の道】

いろいろの妨げなやみあればこそ

まことの天祐くだり来るなり

艱難の大なる後は幸福の

恵みの花の大なるが咲く

祭典」についてです。正座が苦手な若者も祭員・伶人にお仕えできるよう、この6月より大祭を除いた月次祭は、椅子を使つての庭上祭にて執行しています。本苑より、祭員をしていますただける方に声掛けをしますが、若者の発掘には限界があるのが現状です。そこで

11月より、祭員メンバーの一部をブロック制とし、3つのブロックの順送り担当ブロックには、1、2名の祭員の選出をお願いします。若者による祭典にご協力をよろしくお願ひいたします。

最後、3つ目のトピックスは、重点活動「玉串松の植樹」についてです。南設支部の生田文弘さんの土地をお借りして、今年4月、まず6本の松を植樹しました。その生育状況を9月23日確認してきました。一時、松が枯れかかっていましたが、生田さんの手入れのおかげで元気に育っていました。大

丈夫です。今年の年末か年始に本数を増やして植樹し、4年後には玉串松として使用していきます。お待ちください。以上が、5つの重点活動の最近のトピックスです。

コロナも収まりを見せ、本苑は本格的に行事を再開しています。その中で、9月24日開催しました「宣伝使並びに宣伝使になるための研修会」は、それぞれの人がそれぞれのお役をしっかりと果たして皆の力が一つに結集した、今後の良き型となる研修会となりました。改めて、感謝申し上げます。

令和6年 芸術部

節分大祭の 献灯冠沓句

《募集》

【冠句題】 地の上に
喜々として
真っすぐに
【沓句題】 大神業(おおみわざ)
◆三河支社として出される方は、歌稿料500円をそえて、12月17日(日)までに下記へ
【提出先】 芸術部/高井・生田まで

十二月添釜

師走茶会

一年の無事を感謝して、一服を差し上げます。
茶道部/直心会第三ブロック

12月の行事

●10日(日)

少年冬季学級

●17日(日)

本苑十二月月次祭

全体会議

直心会役員支部長会議

●24日(日)

誠心会万祥殿献勞

1月の行事

●1日(月)

本苑新年祭

午前十一時

●21日(日)

本苑1月月次祭

成人式・七草粥

「マイ祝詞」「マイ箸」「マイボトル」「マイタオル」持参でお願いします

私の思い 誠の道をめざして

福岡支部 金原 孝典

自動車は道路、電車は線路、船は航路、飛行機は空路を通ります。人には人の進むべき道があります。もし道を外れたら大変なことになります。しかし、今は数多くの犯罪と人権侵害事件が起きています。ジャニーズ性加害は、今最も注目されている人権侵害事件です。

また、いじめ・DV・虐待・自殺等の事件も大変多く起きています。これらの社会問題は、何らかの理由で人の道を踏み外してしまった人がいるためです。私がこんなことを思うのは、自営業の傍ら、何かのご縁で引き受けた駐在保護司と人権擁護委員をしているからです。聞きなれない役名ですが、保護司と人権擁護委員の活動は、大本の教えと合致しています。

私は、人の道を踏み外さない、差別・偏見・いじめ等がない、すべての人が安心して生活が出来る社会になるように願い、日々活動を続けています。

話しは変わります。ご教示により、私は能楽(謡と仕舞)を数十年習っています。今は、東京の観世喜之家門下の中所宣夫師に稽古をつけて頂いています。それと健康維持のためにスポーツをしています。競技は登山で、高校1年時から四季の自然を楽しみ気分転換も図られるために続けています。それと毎週日曜日に、福岡バスケットボールスポーツ少年団の代表として数十年活動をしています。

岡崎市内スポーツ少年団13競技48団体団員数2,000名超の代表も兼ねています。その他のお役も色々させて頂いていますが、目指す目的は一つです。

私の進むべき誠の道は、何度も何度も曲がり、長い長い険しい山道だと思えます。その道を周りの人のお力をお借りして一步一步あらゆる日か頂きから見える素晴らしい景色を眺めたいです。



前田特派と東海教区特任の定期打ち合わせ会

特任宣伝使 芝田豊海

11月13日(月)に大本三河本苑にて「前田特派と東海教区特任の定期打ち合わせ会」を、特派、三河(4名)、名古屋(3名)、三重(1名)、静岡(2名)の計11名で開催しました。

会議は、①東海教区特任研修会内容検討 ②東海教区連携テーマは葬祭支援体制を中心に、さらに、③本部伝達事項 ④その他懸案事項と進み、特

に今後の東海教区協力体制が課題である事を各人認識し終わりました。令和6年3月2日(土)・3日(日)に

は、「第26回大本東海サミット」が開催されます。サミットでは各機関の役員が、役員として日頃の問題点を互いに述べて参考にする場でもあります。また、本苑内での問題点等話し合い、サミットに臨んでいただきたく思います。

遺稿「み手代お取次ぎ」と「祈願」のご神徳

④ 「不登校の高校生」

特任宣伝使 松永孝司

高校2年生の男子が二学期から学校に行かなくなり、昼間は部屋で寝ていて、夜は外に出て走り回っているそうです。医者に通っても状態が改善されず、ご祈願を依頼されました。

午後7時ごろ、私は自宅を訪問し、正しく正座していただき、「お取次ぎ」をさせて頂きました。その家に入ると、青臭い嫌な匂いが漂っており、これは憑依現象だと感じ、しばらく続けることにしました。お取次ぎを約5回続けた頃、母親から「もうお取次ぎは止めて家に来ないでください」と言われたので、理由をお尋ねしました。

すると、私とその家に訪問する約2時間前になると、息子さんごが恐怖におののきながら家の中を廻り続けるので、親として見るに耐えないとおっしゃいました。

また、ご家族の方々にはこのような憑依現象が親族間を巡り、母親自身も一度経験したことがあるとお話しされました。そのため、仕方なく私は辞退することにしました。それから約一ヶ月ほど経ったある日、息子さんから「母がそちらにお伺いしていませんか」と電話があり、しばらくして母親が訪ねてきました。

息子さんは「私にお礼を伝えたい」と言い、「まだこれからもお世話になることがあるかもしれない」と言ったそうです。母親は私に「お取次ぎ」を断った手前、入りづらい思いをしながら近所をうろうろしていたそうで、お礼と感謝の言葉を述べて帰宅されました。その後、ご主人がお見えになり、息子さんが再び登校するようになった経緯をお話されました。私が訪問しなくなった後、ご主人は毎晩不思議な夢を見るようになったそうです。白い着物を着た人が現れて、息子さんに私が行ったように「お取次ぎ」をなさるのだそうです。

この夢は息子さんの病気が治り、学校に行くようになるまで続いたそうです。